

第四回益城中央線連絡協議会 会議

日 時 平成30年1月29日（月）15：00～

場 所 益城町役場 飯庁舎2階 会議室2

参加者：

連絡協議会委員：竹上会長 住永副会長 荒牧委員 宮崎委員 野田委員 吉村委員 川端委員
野口委員 豊島委員 菅委員 森永委員

熊本県：県央広域本部復興まちづくり課 用地第二課

事務局：復興整備課 復興まちづくり係

【議事内容】

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 県央広域本部からの説明
- (4) 意見交換
- (5) 閉会

《議事録》

【課長挨拶】

本日は寒さの厳しい中、都市計画道路益城中央線連絡協議会にお集まりいただきありがとうございます。それでは議事を進めていく前に、皆様のお手もとの資料の確認を行いたいと思います。

次第

資料1 スケジュール

資料2 今後の取組

資料2-2 ご意見と取組

資料3 ケース入り比較

資料4 模型の作成状況

別紙 熊大ラボの取組の資料

お手元にありますでしょうか。

それでは、会長よりあいさつをよろしく願います。

【会長挨拶】

皆様こんにちは、本日は底冷えの寒い中、第4回都市計画道路益城中央線連絡協議会にお集まりいただきありがとうございます。

本日の資料に目を通しますと、熊本県の用地係のほうで用地買収の方も着々と進んでいるようです。そのあたりの説明や、今までの意見への対応についてご説明いただきたいと思います。

それでは熊本県より説明をお願いいたします。

【県央広域本部からの説明】

資料に沿って説明

【質疑】

- 資料 1 に、現地相談窓口対応というのがありますが、それはどこにあるのか。
- ◇ 益城町役場にて相談を受けています。現在は個別に用地交渉に入っておりますので、熊本県へ直接お問い合わせいただくことも多いです。
- 住宅支援などで、来年までに 200 万円支援が出るはずだが、それまでに代替地が用意できなかった場合期間は延伸されるのか。
- ◇ 支援窓口の対応になると思うが、個別にご連絡いただけましたら対応いたします。よろしく願いいたします。
- 不安に思っている人もいる。営業されているところが道になる。実際、営業する土地が狭くなったため、横の自宅を含んで店舗とすると、住宅が建てられなくなる。そういった場合はどうなるのか。事業途中の段階で行っても仕方がないが、そのあたりを早く対応いただけると助かる。
- ◇ 用地買収では、金額だけでなく、個別のご事情を聞きながら進めていきたいと考えている。委員のみなさんも、そういったことをご存知であれば是非連絡をいただきたい。先にご質問いただいた住宅支援についても個別の対応となりますが、締め切り期限について一概に、この場では回答できませんので、一度持ち帰り確認して回答いたします。
また個別相談を受けられている委員さんがいらっしゃいましたら、情報をいただければ助かります。
- 道路模型が三種類あるが、県道に町道から出る場合、反対車線には基本的に出入れると考えていいか。
- ◇ 今のところ、県警協議でも原則規制するという話にはなっていないので、反対車線に出ることは可能です。
- 信号位置はどのように決めるのか。
- ◇ 基本は現在の信号機がある横断箇所を利用したいと考えている。しかし、歩行者の動線の検討など全体的な見直しも含め行っていく予定ですので、今後皆様にお示しいたいと考えています。住宅や

通学路等で歩行者の動線は大きく変わると思われるので、町やまちづくり協議会とも連携し検討を進めていきたい。

- 地元の声も反映させる形で取り組んで頂きたいと思う。そのあたりは今後行っていくということか。
- ◇ 今後の沿道での生活に関わってきますので、個別にお話を伺いながら進めていきたいと考えています。
- 沿道のことを言われたが、沿道の商業地・住宅地などのゾーニングはどのように進めていかれるのか。
- ◇ 道路は都市施設、沿道は土地利用。これは繋がりが無いといけない。土地利用は基礎自治体である、益城町やまちづくり協議会での検討を頂き、道路計画に反映して進めていきたいと考えています。
- 町道から県道にできる押しボタン信号はかなり厳しい。長く県警へ要望しているが、信号は変わっていない。そのため広崎公園での交通取り締まりはさせないようにしている。町の人口分布も変わってきている。車の台数も変わっている。何人も地元の方が事故にあっている。横断箇所や信号については、地元の意見を聞いて計画を進めていただきたい。
- 情報をいただければ協力したいのだが、代替地の話も多く聞いている。そのあたりの情報はいただけるのか。協力できることはある。
- ◇ 個人情報も含まれるため、今の質問にこの場で答えるのは厳しい。どのように情報を出していくのか検討させていただきたい。
- 議会で市電の延伸を取り上げた。今後熊本市と話をする場を設けるという回答を得た。蒲島知事からも地元からの要望があれば検討するとの回答を得ている。市電延伸が今後可能となるのは、この3案のうち、どの案になるのか。
- ◇ はっきりいえないが、軌道を確保するにはある程度の幅員が必要になる。それぞれの構成要素を再配置することでどの案でも可能にはなると思います。実際に市電延伸の検討が進みだした際に、地元の皆様との協議をする必要があると思います。
- 益城中央線の用地交渉を県がされている。町は沿道の土地利用を、まちづくりの一環としてやっていくということだったが、この沿道のまちづくりを町ができるのか。これは大きく町の復興に影響する。ぜ

ひ県も協力していただき一丸となって進めていただきたい。

- ◇ 形が悪く、土地利用の難しい土地が残ることが想定される。県では、そういった中途半端な土地については、周辺の地権者の方に相談しているところである。バス停の近くであったりとか横断歩道の近くであった場合、休息スペース（ポケットパーク）として整備したり、駐輪場などで整備できないか今後相談をしていく。
- 沿道のまちづくりについて早く構想を決めて動いて欲しい。そうすることで不安解消にもなるし、事業も進みやすくなるのではないか。よろしく願いいたします。
- ◇ 益城町とも相談しながら進めていきたいと考えています。
- 商工会の立場からお聞きます。ケース1・ケース3では植樹帯があるが、個別商店は植樹の間からじゃないと入れないので、この沿線では植樹帯を空けたところじゃないと個別商店が出来ない。そのあたりはどのように解決するのか。
- ◇ 植樹は高木中木低木とあるが、今回は出入り等を考え、連続した低木は予定していない。よって高木・中木だが、確かに植樹が店の目の前にあるのは厳しい。植樹帯の整備は時期的に道路整備の後半になるので、木の位置を確定する際に、沿道の土地利用と整合するよう相談しながら進めていきます。
- ケース1・2・3、ケースごとに地域を分けるのか、それともどれか1パターンに決めて行うのか。要望はある程度意見として通るのか。
以前は商店に対して進入口はどのくらいの幅という決まりがあったが、今回も適用されるのか。
- ◇ 今回は想像しやすいように模型にさせていただきました。それぞれの特徴をよく理解して頂き、今後地元の方のご意向を伺いながら進めていきたいと思っている。色々なご意見あると思いますので、少数意見でも生かせるように色々な意見を吸い上げていきたい。ましきろボなどでの意見等も聞いていただけたらと考えている。ましきろボでは、2月より毎週土曜日に模型の展示をしていただけるようになりましたので、ここでお知らせもしておきます。
道路からの進入口の幅は県で規定を設けている。これは益城菊陽線のみでなく県内すべての県道に適用されますので、益城中央線も同じようになります。
- 中途半端に真ん中に車止めがあると危険。そういった場合の相談は出来るのか。

- ◇ ご相談をお受けし、ご意見を反映しながら検討していきます。
- 以前の車道に駐輪場を設けたりなどの意見交換はできるのか。
- ◇ まちづくり協議会やましきラボを通じて意見交換を進めていければと考えている。
- 本日説明があった沿道の土地利用の話については、今後進めていくのか、現在進行形で進めていると考えていいのか。
- ◇ 本日は一般論で話をさせていただいているところです。今後用地交渉を進めていく中で、益城中央線にあった形を皆さんと検討していきたいと考えています。
- 電線の地中化ができれば、すばらしい道路になると思う。協議中ということだが、地中化はできそうでしょうか。
- ◇ 電線共同溝は地元からも多く要望を頂いています。県としても地中化を実施する方向で事業認可を取得しました。現在、実現に向けて九電・NTT・県警等協議を行っております。前向きに取り組んでいきます。
- 先日、閉まりかけた踏切内に入っていった、自転車に乗ったおじいさんを救助した。4車線化することによってこのように横断歩道を渡れないため起こる事故も片手では数えられないほど起こる。このようなことにも責任を持たなければならない。誰が責任をとれるのか。そのあたりも考えてほしい。
- ◇ 4車線を2車線にすることは出来ないが、安全に横断できるよう必要な手立てを考えていきたい。具体的には、押しボタン式信号と交差点の信号を連動させ、横断時間を確保しつつ渋滞が発生しないようにすることや、横断歩道の位置を明確にしていくことなど、できる限りご意見伺いながら進めていきたい。
- それでは時間になりましたので、これで第4回益城中央線連絡協議会を閉会いたします。

以上